

EM1の安全性確認証明書

北環科第4123号
平成6年8月8日

**マウスを用いた単回投与
急性毒性試験報告書**

試験実施機関
住 所 神奈川県相模原市北區1丁目15番1号
名 称 財団法人 北里環境科学センター

運営管理者
北里環境科学センター所長 小倉治夫

試験責任者
北里環境科学センター生物二室係長 青木正人

試験担当者
北里環境科学センター生物二室技師 赤堀弥生

北環科第4124号
平成6年8月8日

**マウスを用いた連続経口
投与毒性試験報告書**

試験実施機関
住 所 神奈川県相模原市北區1丁目15番1号
名 称 財団法人 北里環境科学センター

運営管理者
北里環境科学センター所長 小倉治夫

試験責任者
北里環境科学センター生物二室係長 青木正人

試験担当者
北里環境科学センター生物二室技師 赤堀弥生

総括（マウスを用いた単回投与・急性毒性試験）

EM1の原液10ml/Kgを雄のマウスに経口投与し、1週間一般状態の観察と体重測定を行った。また、投与1週間後に屠殺・解剖を行い、各臓器の肉眼的観察を行った。

その結果、死亡、下痢、立毛、麻痺、痙攣、行動変化等の異常は認められなかった。体重測定結果は順調な増加傾向を示し、毒性による体重減少は認められなかった。解剖の肉眼的観察所見では、各臓器に異常は認められなかった。

これらの結果から、EM1の原液の10ml/Kgを雄のマウスに経口投与した範囲では毒性は認められなかったと推測された。

総括（マウスを用いた連続経口投与毒性試験）

EM1の100倍希釈液を給水瓶に入れ、雄のマウスに3週間自由に飲水摂取させた。試験期間中、一般状態の観察と飼料摂取量、飲水摂取量ならびに1週間2回の体重測定を行った。また、投与3週間後に屠殺・解剖を行い、各臓器の肉眼的観察を行った。

その結果、死亡、下痢、立毛、麻痺、痙攣、行動変化等の異常は認められなかった。食餌効率も対象群と比べ有意差は認められず、飲水摂取量も3週間の合計が約111ml/匹であり、試料原液に換算すると1.1ml/匹であった。

体重測定結果は順調な増加傾向を示し、毒性による体重減少は認められなかった。解剖の肉眼的観察所見では、各臓器に異常は認められなかった。

これらの結果から、EM1の100倍希釈液を雄のマウスに3週間経口投与した範囲では毒性は認められなかったと推測された。

EM-1畜産マニュアル 養鶏編

2003年2月10日 第1刷発行

編集・発行所

(株)EM研究所

〒421-1223 静岡県静岡市吉津666

印刷・製本

日興美術株式会社

©(株)EM研究所 〈無断複製・転載を禁ず〉
定価400円（本体381円）

